新潟県建築士会報 2026-11





今月の記事

・会誌及び会報の隔月発行
・ふくまち勉強会
・定期講習情報
・活動報告
・こーひーブレイク
・建築甲子園新潟県大会の結果
・会議報告
・会員ログイン情報
・会員情報

会誌「建築士」及び「新潟県建築士会報」の隔月発行について

会報１０月号に同封した文書のとおり、日本建築士会連合会発行の会誌「建築士」は２０２７年１月号より、紙版の発行が隔月発行（奇数月発行）に移行することとなりました。これに伴い、本会会報「新潟県建築士会報」も隔月発行（奇数月発行）とする方向で広報委員会において検討を進めています。今後もホームページ、メール配信サービス、公式Instagramなど、会員の皆様に有益な情報をタイムリーにお届けできるよう、情報発信の充実に取り組んでまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

▶ 公式Instagramアカウントはこちら
@ngt.kenchikushikai（または「新潟県建築士会」で検索）

▶ メール配信サービスをご希望の方は右記のＱＲコードからお申し込みください。

NGT.KENCHIKUSHIKAI

メール配信

新潟福祉まちづくり研究会　第 12 回勉強会のお知らせ

建築士のための「依頼者の想いを聴く力を学ぶ勉強会」です。

ＡＣＰ×高齢者の住まい改修って何？医療・介護の視点も含めた、人生会議（ＡＣＰ）の考え方を取り入れることが、より良い暮らしの実現につながります。人の想いに寄り添う住まいづくりのために、依頼者の望みを丁寧に聞き取る力を目指します。もっと「想いに寄り添う聴く力」を高めませんか。

日　時：１２月１２日（土）１４：００～１７:００（受付１３:３０～）
場　所：新潟市総合福祉会館５階　大集会室
※お申込みは右記ＱＲコード、または
https://www.025arc.net/news/202610261.html
詳細は同封の案内チラシをご覧ください。

申込み QR

建築士会 HP

令和８年度建築士定期講習 追加開催のお知らせ

１０月号でお知らせした令和８年度の建築士定期講習について、**来年３月に追加開催**することとなりました。

日にち	会場	会場コード	受付状況 （10 月 22 日現在）
１１月１７日（火）	上越市人材ハイスクール	３Ａ－０９	残２４
１１月１８日（水）	新潟ユニゾンプラザ	３Ａ－１０	残　７
令和９年３月１８日（木）	**新潟ユニゾンプラザ**	**３Ａ－１２**	**残２５**

※１１月１２日（木）長岡会場は満席になりました。

詳細は https://www.025arc.net/arc/seminar.html

活動報告　※抜粋版でお届けします。詳細はホームページの活動報告欄から

☆令和８年度「建築士の日」事業

県央ブロック「～長岡の今と昔を学ぶ～見学会」

長岡支部　上石　茂美

長岡支部では６月２８日（日）、長岡市内３か所を巡る見学会を開催しました。最初に、令和６年に竣工した長岡造形大学第４アトリエ棟を、佐藤淳哉教授の解説のもと見学しました。流線形の屋根に合わせた吹抜け空間には、重力換気による自然通風を取り入れ、春と秋の空調エネルギー負荷を低減する工夫が施されています。次に、国の登録有形文化財である水道タンクと周辺施設を見学しました。長岡造形大学の平山学長、津村准教授、水道タンク友の会の小林会長から解説をいただき、通常は非公開の水道タンク内部にも入り、最上部の貯水タンクを見学することができました。また、長岡空襲の被害を伝える、焼夷弾によって穴が開いた屋根の修復跡も見ることができました。最後に、今年５月末に開館した長岡戦災資料館を見学しました。長岡市民に親しまれてきた旧「互尊文庫」を大規模模様替え・増築した建物で、長岡造形大学の津村准教授、設計監理を担当した㈱長建設計事務所の緑川氏、施工を担当した㈱大石組の山本氏から解説をいただきました。当日は快晴に恵まれ、小学生を含む一般参加者にもご参加いただきました。この見学会を通じて、長岡の歴史や街の魅力、建築への関心を深めていただく機会になったことと思います。 快晴に恵まれた当日は、会員３９名・一般１５名（小学生含む）の計５４名が参加し、長岡の建築文化に親しむ一日となりました。





県南ブロック「建築パネル展」

南魚沼支部長　若井　和重



南魚沼支部では、７月１日の「建築士の日」に合わせ、市民に建築や建築士会の活動をより身近に知ってもらうための広報事業を実施しました。７月１日には地元ラジオ局「ＦＭゆきぐに」の生放送に支部長らが出演し、建築士の仕事や活動についてＰＲしたほか、期間限定でＣＭも放送されました。また、６月１６日～７月１６日まで南魚沼市図書館展示ギャラリーにて「建築パネル展」を開催し、会員が手掛けた写真やパースを展示しました。昨年に続き、地域へ建築の魅力を発信する有意義な機会となりました。

県北ブロック「村上フォトクイズラリー」

岩船支部　遠山　稔

岩船支部では令和８年１０月３日に「建築士の日事業＆全県交流会」として、村上市にてフォトクイズラリーを開催しました。参加者は３７名でした。その内、一般参加者は新潟工科大学建築コースの学生８名を含む１０名でした。フォトクイズラリーは昨年、新潟支部で行われたイベントです。実際に参加してみてとても楽しいイベントだったので、新潟支部の皆さんにもご協力いただき、今回、村上市で開催することになりました。フォトクイズラリーとは、マップに掲載されたフォトスポットを巡り、各スポットに設定された得点に応じて写真を撮影し、その合計得点を競うゲームです。街歩きをしながら、その街の魅力を発見できるイベントであり、村上市を知ってもらうという意味でもとても有意義なイベントになりました。参加者に聞いたアンケートでは、２３名中１９名が「とても楽しかった」と回答し、８割以上の方に楽しんでくれたんだなと感じました。今回は交流会ということもあり、今まであまり話す機会がない方同士が交流できるよう、チーム編成は他支部同士を組み合わせ、学生も学生だけではなく、建築士会の会員と一緒に参加できるようにしました。それがうまくいったようで、ゲームから戻ってきた参加者の皆さんからは、出発前よりも和やかな雰囲気が感じられました。



こーひーブレイク

最近、「リバ剣」をした。リバイバル剣道の略で、大人になってから剣道を再開することをいう。きっかけは、子どもが「剣道をしたい」と言い出し、直江津の道場に通い始めたことだった。そもそも剣道を勧めた覚えはなかったので理由を聞くと、「ママみたいに強くなりたいから」と言う。妻は全中、インターハイ、そして全日本剣道選手権に新潟県代表として出場したほどの一流選手だ。一方の私は、父の勧めで小学１年から大学まで続けていたものの、当時は嫌々やっていただけで実績など何もない。しかし、昨年、県内の自治体職員が出場する剣道大会で、思いがけず優勝を果たした。今年もディフェンディングチャンピオンとしての出場を控えている。人生で初めて「剣道が強くなりたい」と思いながら、今は週２回の稽古に汗を流す日々を送っている。

上越支部　坂下　尚之

建築甲子園新潟県大会の結果

２０２６年 第１７回 高校生の「建築甲子園」に２校２点の応募があり、下記の通り新潟県代表校が決定しました。

【新潟県代表校】新潟県立上越総合技術高等学校

【 作 品 名 】「つながりを耕す」

主な会議報告

◆第 17 回業務執行理事会＆第 10 回総務委員会(10 月 26 日(月)) 建築士会内打合せスペース
①委員の選任 ②表彰規程と旅費規程の改正（案） ③会報隔月発行

◆第 11 回広報委員会(10 月 15 日(木)) Zoom
①会報 11 月号掲載記事 ②会報及び機関誌発行変更に伴う情報発信の方法

◆第 6 回まちづくり委員会(10 月 31 日(土)) 対面
①地域づくり協働支援事業の過去採択団体視察

◆第 9 回ヘリテージマネージャー委員会(10 月 6 日(火)) Zoom
①勉強会当日スケジュール・分担の確認

ホームページ 会員専用ログイン情報のお知らせ

【令和８年 11 月 16 日～令和８年 12 月 15 日の会員専用ログイン情報】
ユーザー名 20261116 パスワード KIKU（きく）

会 員 情 報

新入会員の紹介

＜長 岡＞ 目黒 剛志 さん ＜柏 崎＞ 山田 雄司 さん
＜上 越＞ 山本 陽市 さん

長寿お祝い

＜新 潟＞ 岡 明洋 さん

おくやみ

ご冥福をお祈り申し上げます。

＜長 岡＞ 髙橋 孫幸 様

今月の写真 ～佐渡建築士会～「大崎白山神社能舞台」

佐渡といえば金銀山が有名である。慶長八年（1603）に赴任した代官の大久保石見守長安は鉱山掘削技術に秀でており、また猿楽師の出自でもあった。西三川にてすでに砂金は採取されていたが、相川に陣屋を造り、金銀山を開発した。その一方で能楽師を召し、陣屋にて演能したとの記録がある。のちの奉行のときには能楽が保護奨励され、正保 2 年（1645）には相川の春日神社に能舞台が作られ、神事能が行われるようになった。神事能には統治の側面があったという。佐渡の能舞台は平成初期で 30 以上存在しており、現在でもほぼ変化はない。この白山神社能舞台は寄棟造茅葺で、明治初期以前の建築と推定されている。本舞台と後座は床の張り分けがなく、天井はひと続きである。笛柱はワキ柱に寄っており、シテ柱と対称ではない。地謡座が付属し、橋掛りが接続している。奉行所から 30 ㎞以上離れたところにさえこのような能舞台があり、昭和中期以降はあまり使われなかったが、幸いなことに本年 4 月 8 日、ほかの能舞台とともに多くの能楽師を迎え、一日がかりの能が催され盛況を呈した。金銀山や能舞台に象徴されるように、地方の産業や文化は人口減少に伴い廃れつつある。今までの人の営みの蓄積が広く再認識され、再興し、あるいは振興することを願ってやまない。

佐渡建築士会 日下 敞啓

令和 8 年 11 月 1 日発行

公益社団法人新潟県建築士会 〒950-0965 新潟市中央区新光町 15-2 県公社ビル 3 階
TEL 025-378-5666 FAX 025-285-2911 E-mail kensikai@025arc.net
URL https://www.025arc.net/